

社会福祉学科 2年 前期 総合科目

1. 生と死の倫理学
2. 人間関係論
3. 職業選択と自己実現
4. 臨床美術の実践 I ※不開講

社会福祉学科

科目名: 生と死の倫理学				担当教員 氏名: 境 美代子					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	総合科目	講義	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 看護職としての経験を活かして、「生と死」について人としての理解を深められるように教授する									
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード				
この授業では、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討しながら、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心がまえを学習します。とりわけ、他者の「人生という物語」を共感しながら理解する態度・姿勢を身に付けてもらい、福祉・介護関連の仕事に携わる意欲(使命感)を高めてもらいます。					・道徳と倫理 ・地域共生社会 ・幸福度 ・尊厳と自立 ・インフォームドコンセント ・生命倫理と医療倫理				
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識・理解力			人間の尊厳、人生の意味と幸福、社会の成り立ちについて広く知り、理解を深める。						
C 論理的思考力			何が善であり、倫理的に正しいことであるかを、論理的に(根拠に基づいて)考察する。						
D 問題解決力			医療・福祉・介護の現場における倫理的な葛藤を分析し、問題解決の方策を検討する。						
F チームワーク・リーダーシップ			事例検討を通じて多職種連携の重要性を理解し、連携に必要な協調性を涵養する。						
G 倫理観			医療倫理の考え方を理解し、利用者と家族の人権を守るための倫理的配慮ができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	60 %	発表:	30 %	実技試験:	%	その他:	10 %
特記事項: 本科目はアクティブラーニングの一環として、ビデオ教材(ドラマ)や新聞記事を用いた事例検討(問題発見と課題解決)を実施します。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修 ディスカッション、デバート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間で課題レポートによる評価を実施する。グループによる演習、発表をし、最終課題レポートにより成績評価とする。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: コメントにより各自に返却する									
授 業 計 画				準備学修(予習・復習等)					
				学修内容	学修に必要な時間(分)				
①[導入1]人としての倫理、倫理観について理解する				【予習】講義概要を熟読しておく。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】20分 【復習】40分				
②[導入2]人間の尊厳と人権の尊重について理解する				【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分				
③[導入3]倫理原則と倫理綱領について理解する				【予習】予習用資料を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分				
④命に関する倫理、倫理観を理解する				【予習】小テストの準備・テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分				
⑤医療・福祉における生命倫理について理解する				【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分				
⑥高齢者医療・福祉現場における倫理的問題について理解する(グループワーク)				【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分				
⑦高齢者医療・福祉現場における倫理的問題について理解する(発表) 中間評価				【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分				
⑧死に関する生命倫理、尊厳死と安楽死について理解する(1)				【予習】小テストの準備・テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分				
⑨死に関する生命倫理、尊厳死と安楽死について理解する(2)				【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分				
⑩高齢者医療における倫理的問題(その1)事例による分析				【予習】小テストの準備・テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分				
⑪高齢者医療における倫理的問題(その2)事例による分析				【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分				
⑫児童虐待と生命倫理について理解する				【予習】小テストの準備・テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分				
⑬高齢者福祉社会と今後の問題について理解する(1) (グループワーク)				【予習】テキストの指定範囲を熟読する。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】50分 【復習】40分				
⑭高齢者福祉社会と今後の問題について理解する(2) (発表)				【予習】小テストの準備・テキストの熟読。 【復習】講義資料のポイントを整理する。	【予習】70分 【復習】20分				
⑮発達障がい・LGBTと生命倫理: [まとめ]〈生と死の倫理学〉と福祉・介護				【予習】全体を復習する。	【予習】50分				
使用テキスト: 金子・金内ほか(編集)『学生と考える生命倫理[第2版]』(ナカニシヤ出版、2018、ISBN-10: 4779512212)				その他参考文献など: 介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解(最新 介護福祉士養成講座 1)』(中央法規出版、2019)					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 生と死をめぐる現代の諸問題を一緒に考えて、倫理的感受性を少しでも高めて、倫理的行動はできる人に成長してほしいと思います。									

社会福祉学科

科目名: 人間関係論			担当教員 氏名: 尾山 敦子						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	2年次	前期	総合科目	講義	選択	交流分析士2級受験資格			
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 県内の各病院や医療法人で接遇研修を行っている実務経験を活かし、心理学視点からの接遇を体験学修する。									
授業科目の学修教育目標の概要:					キーワード				
<p>・人間関係論は、人間性心理学(交流分析)を中心に学修し、講座を通じて「自他を受け入れ認められる人」「人と親密に係ることができる人」を目指す。</p> <p>・自己のパーソナリティの認識と改善、他者への気づきと円満な対応、状況と相手に相応しいやりとり選択、効果的なストローク(ふれ合い)交換、自己の感情や行動の傾向に気づいて改善する。</p> <p>・交流分析スローガン「人は誰でもOKである。過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と私。自分が変われば相手が変わる。」</p>					<p>・人間性心理学 ・人間力</p> <p>・交流分析(TA)</p> <p>・エゴグラム</p> <p>・パーソナリティ理論</p> <p>・コミュニケーション法</p> <p>・やりとり・傾聴・ストローク</p>				
授業における学修の到達目標									
学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)									
A 知識・理解力	・自己のパーソナリティ認識と成長法								
E 自己管理能力	・人生の構えのゆらぎと改善、・人生脚本の書き換え等								
F チームワーク・リーダーシップ	・自他のパーソナリティを認識した関わり方・やりとりパターンの改善(傾聴法、アサーションを含む)・ストローク授受の改善								
G 倫理観	・自他受容(人は誰でもOKである。人は誰でも考える力を持っている。)								
H コミュニケーション力	・エゴグラム分析、・やりとりパターンの改善、・ストローク授受の改善								
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項: アクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学修 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 随時実施する。補習・試験日に期末テストを実施する。(テスト・レベルは上述の到達目標による)									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テスト並びに提出課題については次回にフィードバックをし、確実な講義内容の修得と、支援活動における実践力養成につなげる。なお希望者には随時個別面談を行う。									
授 業 計 画					準備学修(予習・復習等)				
					学修内容	学修に必要な時間(分)			
①【尾山】人間関係論とは何か 人間関係論の必要性と目的 自己紹介(グループワーク)					オリエンテーション 自画像と他画像				
②【尾山】自我状態とは何か 自我状態の構造分析 (シートP1)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
③【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能分析その1)(シートP2)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
④【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能分析その2 エゴグラム心理分析)(シートP3・4)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑤【尾山】「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の機能、肯定的側面と否定的側面)(シートP5・6)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑥【尾山】自我状態の改善による自他への肯定的人間関係の構築(エゴグラム活用ガイド問題記入提出)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑦【尾山】人間関係論の概要と自我状態のまとめ やりとり分析その1 やりとり分析とは					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑧【尾山】やりとり分析その2 刺激と反応によるやりとりの三つのパターン・相補交流(シートP7・8・9)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑨【尾山】やりとり分析その3 刺激と反応によるやりとりの三つのパターン・交差交流・裏面交流(シートP10・11・12)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑩【尾山】やりとり分析その4 快い交流を図るには(シートP13)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑪【尾山】ストロークとは何か その重要性和効果・ストロークの種類(シートP14)(エゴグラム活用ガイドフィードバック)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑫【尾山】ストローク飢餓とは(シートP15・16・17)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑬【尾山】ストロッキング・プロフィールによる心理分析(シートP18~22)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑭【尾山】快いストローク交換を心がけよう(シートP23) ディスカウントとは(シートP24)					【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習				
⑮【尾山】ディスカウントの領域(シートP25) 全体講義内容のまとめと自己改善の行動目標設定					【予習】テキストの該当箇所を読む 【予習】20分				
使用テキスト: 「交流分析士2級テキスト」「交流分析士2級TAシート」(NPO法人日本交流分析協会発行)、エゴグラム活用ガイド ※随時プリントを配布します。					その他参考文献など: TA TODAY 最新・交流分析入門 I・スチュアート 著 V・ジョインズ 著(実務教育出版)				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「自分を受け入れ、人をも受け入れることができる人」「自他のパーソナリティを認識し、それにふさわしい対応ができる人」を目指す。人にとって人間性豊かな係わりは、何物にも代え難く有り難い励ましである。人間関係論は、今後の人生を通じて、色々な場面で、いつも役に立つ。人間関係論(交流分析)は心理カウンセラーへの導入路でもある。 「人間関係論」と後期の「コミュニケーション論」の両方を受講した人には、2月頃実施のNPO法人日本交流分析協会「2級交流分析士」(登録商標)の受験資格が与えられる。									

社会福祉学科

科目名: 職業選択と自己実現				担当教員 氏名: 島田 勝彰		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	2年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		キャリア支援業務と教育学を組み合わせたワーク&対話型の授業を実施します。				
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
社会のニーズを把握し、自分の実現したいキャリアについて主体的に考えることを通して、自分自身の将来性についてポジティブかつ明確な方向性を見出す。また、他者の意見や価値観に触れることで、進路選択の視野を広げコミュニケーション力を身につける。					キャリア・オーナーシップ 社会人基礎力(基礎教養)	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10			
E 自己管理能力		コミュニケーション実践を通じて自己発見、自己理解。				
F チームワーク・リーダーシップ		グループワーク実践を通じて「積極性」を身につける。				
H コミュニケーション力		各実践を通じて社会人としての自覚を意識する。				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 20 %	レポート: 20 %	発表: 40 %	実技試験: 20 %	その他: %		
特記事項: 課題やグループワークを通じて気付いたことを随時(毎回)発表してもらう。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストや実技試験は期末に実施、レポートや発表は原則毎回実施。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①講師自己紹介、キャリアオーナーシップについて				グループワーク	90分	
②自己分析と業界研究				個人ワーク・レポート作成	90分	
③グループ課題(自己PR)				グループワーク	90分	
④グループ課題(自己PR)発表				グループ発表・レポート作成	90分	
⑤グループ課題(業界研究)				グループワーク	90分	
⑥グループ課題(業界研究)発表				グループ発表・レポート作成	90分	
⑦将来設計・社会人基礎力				グループワーク	90分	
⑧プレゼンテーション(自分のキャリアについて)				プレゼンテーション	90分	
使用テキスト: 講師側で準備				その他参考文献など:		
グループワークを中心に意見交換をしながら、課題や重要なポイントについては適宜講師から補足を入れます。高頻度で発表の機会を設け、コミュニケーションの経験値を高めながら視野を広げる。						